
いつかみた蒼空

菜柚

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

いつかみた蒼空

【Nコード】

N4207Q

【作者名】

菜柚

【あらすじ】

過去の事件で何もかもから逃げ出し、塞ぎ込んだ少年の物語。

Cowardice (前書き)

過去を消したい少年の物語・・・

Cowardice

この空はいつみたのだろうか・・・

自分には思い出せない、嫌思い出たくないそんな感じがする。
過去というものは消さないものである。決して消してはいけ
ないものだ。

けれど自分は過去を消そうとしている。大事な過去を・・・

・・・2年前・・・

何故自分は生きているのだろうか。

僕は必要な存在ではない。

友人は僕の目の前で自殺した。

「お前のせいなんだ・・・すべてお前がいなければ・・・」

その日から、自分は塞ぎ込んだ生活を送り始めた。

罪悪感を背負い・・・

・・・1年後・・・

僕の名前は荒川蓮あらかわれん

普通の高校生だった。これは過去形であり、昔あった事件で僕は心を弱めた

その結果生み出したのは引きこもりという生活だった。

その日から友人、親、先生達は気を遣うようになった。

望んでもいないのに、罪悪感で押しつぶされそうな毎日を過ごしているのに、そんな毎日の悩みを本気で打ち明けれる人が僕にはいない。

対人恐怖症になっているのかもしれない。
ときどき送られてくるメール、そんな些細ささいなメールでも心臓が跳ね
上がる。

結局メールを見るが、『大丈夫？』『暇だから早く来いよ』『しか
来ない。』

「どうせ心配なんてしてないくせに・・・」
眩きつつメールを削除。

そんな日々が・・・今の自分の生活だった。

Cowardice (後書き)

見てくださってありがとうございます。

今回初めて載せさせてもらいました。

駄目なところばかりなので。修正点を教えていただきたいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4207q/>

いつかみた蒼空

2011年1月28日06時17分発行